



Morgan Stanley 

G8国首脳に世界の若者がアピール J8(ジュニアエイト)サミット

- ・ 日本代表チーム決定
- ・ 首相官邸に表敬訪問を予定
- ・ 6月7日(木) G8会合にJ8代表出席・J8コミュニケを発表

2007年5月17日 | 東京

先進8カ国の首脳が集まり、様々な国際問題を討議するG8サミット。J8は、ユニセフ、モルガン・スタンレーおよびG8議長国が共催し、G8と平行開催されるG8の公式ユースプログラム。G8国と開発途上国から13歳～17歳の若者の代表が参加。G8の議題を討議し、共同声明(J8コミュニケ)をまとめ、G8首脳陣と全世界に向け発表する。G8会期中に、J8サミットの代表がG8首脳会議に参加予定。今年で3回目となるJ8は、2007年6月3日～9日、G8開催地ドイツ・ハイリゲンダム近郊の町、ヴィスマール(Wismar)で開催される。



2007年 J8日本代表決定

今年1月から3月まで開催された2007年のJ8コンテスト。限られた告知・募集期間にも関わらず、日本全国から、予想を超える数の問い合わせが寄せられた。また、今年のコンテスト(英作文)では、「アフリカにおける経済発展の展望」「HIV/エイズ」「気候変動とエネルギーの効率性」に加え、国内では認知度が低い「知的財産所有権と企業の社会的責任」と、多岐にわたる非常に難しいテーマが与えられた。限られた期間に、こうした課題について8人1組のチームで議論し、課題克服に向けた提案(コミュニケ)を一つの英作文にまとめるという、大変ハードルの高いコンテストであったにも関わらず、中には全校を挙げて取り組んだ学校もあり、最終的に、計18チームから応募が寄せられた。



広尾学園理事長大橋清貴氏(左)に、J8代表決定通知書を手渡す、モルガン・スタンレー証券サップスフォード広報部エグゼクティブ・ディレクターと日本ユニセフ協会 小松澤学校事業部長(4月23日広尾学園にて)

応募作品は、J8主催者であるユニセフとモルガン・スタンレーの他、各テーマに精通した外務省の専門家などで構成された委員会が審査。広尾学園(東京都・港区)に所属する女子6名・男子2人によるチーム「HIROGAKU EIGHT」が、2007年J8日本代表チームとして選ばれた。

J8サミットに向けて ― 首相官邸を表敬

J8 代表決定の連絡を受け、HIROGAKU EIGHT のメンバーは、広尾学園の教員などの協力を得、英語での討論(ディベート)のトレーニングなど、サミットに向けての準備を始めた。また、5月12日(土)には、2006年のJ8代表チーム(都立国際高校 東京都世田谷区)に参加した「先輩」から、アドバイスや昨年のJ8コミュニケの「引継ぎ」を受けるために、J8主催者が開催する事前準備会議に参加。14日以降、外務省の専門家によるJ8テーマに関する講義や、ユニセフが製作に協力した映画『それでも生きる子供たちへ』試写会への参加の他、出発前に、首相官邸への表敬訪問を予定している。



「Enjoy and work hard!」2006 J8 代表チームからエールを送られる HIROGAKU EIGHT の若者たち(5月12日準備会にて)

2007年 J8 ― ハイライト

6月3日、バルト海沿岸の町ヴィスマール(Wismar)で幕を開ける2007年J8。会期中のハイライトは以下のとおり(5月3日現在)。

6月3日(日)

9:00-9:30 開会式(ヴィスマール)
参加予定: 各国 J8 代表チーム、
ドイツ政府(閣僚レベル)代表、ヴィスマール町長、
ユニセフ親善大使他



6月5日(火)

11:00-12:00 記者会見(ベルリン)
参加予定: 各国 J8 代表チーム
(G8国・非G8国の若者各2名)他
13:00-14:00 2007年G8議長 メルケル独首相表敬(ベルリン)
参加予定: J8全参加者他



6月7日(木)

11:45-12:30 G8会合に出席。
G8首脳にJ8コミュニケを発表(ハイリゲンダム)
参加予定: J8代表(日本チームから1名)
※ 日本チーム代表者は、J8コミュニケ発表の他、
2008年J8ホスト国代表として挨拶
12:30-13:30 記者会見(ハイリゲンダム)
参加予定: G8会合に出席したJ8代表他



モルガン・スタンレー

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、資産運用、ウェルス・マネジメント、クレジット・サービス事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界31カ国にある600以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。モルガン・スタンレー・インターナショナル基金は、モルガン・スタンレーの欧州における慈善事業のためのチャリティ基金として1995年に設立され、イングランドおよびウェールズの社会福祉委員会に認定チャリティ団体として登録されている。同基金の寄付の対象は、モルガン・スタンレーが拠点を持つ欧州および南アフリカにおいて地域貢献活動を行っている非営利団体を中心となっている。支援活動は、健康や社会福祉を含むすべての分野において行っているが、特に、教育、職業訓練、雇用などの分野に注力している。モルガン・スタンレーに関する詳細：www.morganstanley.com

ユニセフ(国連児童基金)

ユニセフは、155の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関である。ユニセフは、開発途上国で予防接種の普及活動を進める世界最大の機関であり、男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開している。ユニセフの活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの任意拠出金でまかなわれている。ユニセフに関する詳細：www.unicef.or.jp

お問い合わせ:

モルガン・スタンレー証券株式会社 広報部 野村	電話: 03-5424-5013 FAX: 03-6401-0103 Email: Shiho.Nomura@morganstanley.com
ユニセフ東京事務所 広報官 永島	電話: 03-5467-4431 FAX: 03-5467-4437 Email: mnagashimahayashi@unicef.org
日本ユニセフ協会 広報室 若松・中井	電話: 03-5789-2016 FAX: 03-5789-2036 Email: jcuinfo@unicef.or.jp

###